

年 組 名前：

問1

春日居中が、探究活動を「さかしたクエスト」と名付けた理由を教えてください。

.....

.....

問2

1年生は、何をテーマに探究活動を行っていますか。

.....

.....

.....

問3

窪田校長は、この取り組みについて、どのように話していますか。

.....

.....

.....

問4

あなたなら、どのようなテーマで探究活動を行いたいですか。自由に教えてください。

.....

笛吹・春日居中

生徒がテーマ設定、探究活動



・所在地  
笛吹市春日居町鎮目613の2

・全校生徒 193人

・創立年月日  
1948年4月14日

・学校教育目標  
豊かな心を持ち、思いやりのある生徒 責任を重んじ、公共心に富む生徒 知性に富み、進んで学ぼうとする生徒 勤労を尊び、奉仕する生徒 健康でたくましい生徒

バスケットボールでの体の動きなどを研究し、結果をタブレット端末に打ち込む生徒 ー笛吹・春日居中

一絆さんが設定した課題は「ミドルシュートを正確に打つためには」。インターネットなどを使って情報収集した上で、体を真上にジャンプさせたり、ボールを膝の位置で止めて「ため」をつくったりするなどの仮説を立ててシュートを試した。この日は10本中7本

問題決めざし 試行錯誤



笛吹・春日居中は、総合的な学習の時間を活用し、「さかしたクエスト」と名付けて、生徒がテーマを設定した探究活動をしている。普段の生活で感じた疑問の解決や、部活動などで取り組んでいるスポーツの技能向上を図っている。11月に開いている発表会は、昨年から地元高校生を招いてい

が入り、結果を端末に入力。「今後も別の方法がないか考えていきたい」と意欲的に話す。「さかしたクエスト」は、旧校名の坂下中にちなんでいる。1年生は世界農業遺産に認定された峡東地域の果樹農業システムについて探究。2、3年生は自身でテーマを設定している。部活動に関するもののほか、「春日居地区の名前の由来」や「遠くまで紙飛行機を飛ばすようにするには」などさまざまな。

生徒間で中間発表を繰り返しながら、テーマ設定を修正したり、探究の手法を再検討したりする。一人一人が成果をまとめ、11月には発表会を開催。昨年は笛吹高の生徒も招き、発表後には質問を受け付けるなどした。今年も招待する予定で、中高生が交流する機会にしていきたい考えだ。

窪田真一校長は「問題を解決するために試行錯誤し、人と対話することで深い学びができる。生徒が主体的に楽しみながら取り組んでいる」と話している。

〈武田寛明〉  
第1、3土曜日に掲載します

(2026年8月15日付 山梨日日新聞 15面)